



次世代自動車◇トピックス

持続可能なモビリティに特化した世界最大のイベント「UITP Global Public Transport Summit」で公開された自動運転アーバン・コンセプトEV「Scania NXT」。展示された車両はバスタイプのボディを搭載したものとなった

都市交通の変革を実現

モジュラー・システムを大幅に進化させたアーバン・コンセプトEV
 未来の都市交通システムのアイデアを提供する“Scania NXT”
 スカンディアがストックホルムでの公共交通サミットでNXTを初公開

フォルクスワーゲングループ傘下のスカニアは2019年6月10日～12日にスウェーデンのストックホルムで開催された「UITP Global Public Transport Summit (UITP グローバル公共交通サミット)」において、新たな自動運転アーバン・コンセプトEV「Scania NXT」を初公開した。

この「NXT」は、朝夕の通勤から日中の商品輸送、そして夜間の廃棄物回収まで、柔軟な対応を可能にするデザインとなっている。これは、スカニアの企業DNAでもあるモジュラー・システムを新たなレベルへと押し上げたもので、都市におけるさまざまな課

題に対応できる大胆なイノベーションを起こすコンセプト車両だと言える。

「NXT」は、全長8mのバスモジュール複合ユニット構造で、大幅な軽量化を実現。フロントおよびリアに駆動モジュールを備えており、それぞれの用途に合わせ“乗合バス”“トラック”“ゴミ収集車”などにボディを取り替えることができる。また、円筒形の燃料電池をデッドスペースとなる床下に配置するなど、重量の配分も考えたデザインで、車両重量は8トン以下、1回の充電での航続距離は245kmを想定している。「NXT」は、24時間365日の人とモノの流れ



に、1台で対応することを目指すアーバン・コンセプトEVである。

スカニアのヘンリック・ヘンリクソン代表取締役社長兼CEOは、「NXTは、都市交通の未来におけるビジョンです。まだ発展途上のテクノロジーもありますが、実際にコンセプト車両を構築し、我々が達成しようとしている技術とアイデアを目に見える形で示すことが重要だと考えて公開しました。NXTは、すでに応用可能な最先端技術を取り入れつつ、2030年とそれ以降を見据えて設計しているものです」と述べている。

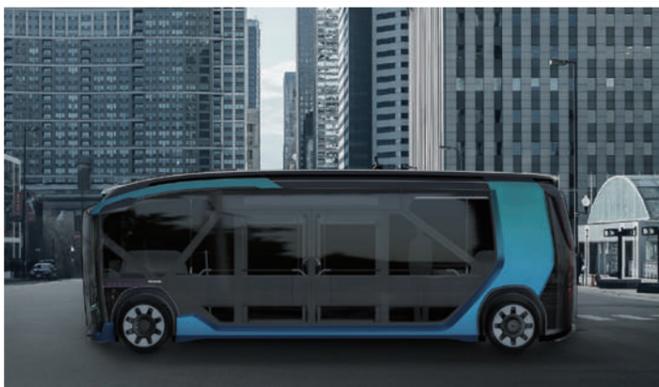
電気自動車と自動運転車両への需要に応えるためには、インフラストラクチャーをさらに発展させることが必要である。加えて、都市におけるヒトとモノの絶え間ない移動において、個別に対応するのではなく、全体を見据えての一貫した対応が求められている。しかし商用輸送は、様々な形で都市交通の主流を形成しているものの、通勤や通学、スーパーマーケットや飲食店へ食材運搬、病院への薬品配送、ゴミの収



DREAM WORKS!



“シェアリング”思想のNXTは、乗合バス・トラック・ゴミ収集車など用途に合わせてボディを取り替えることができる。今後、応用可能な最先端技術を取り入れながら2030年以降を見据えて設計されている画期的な車両だ

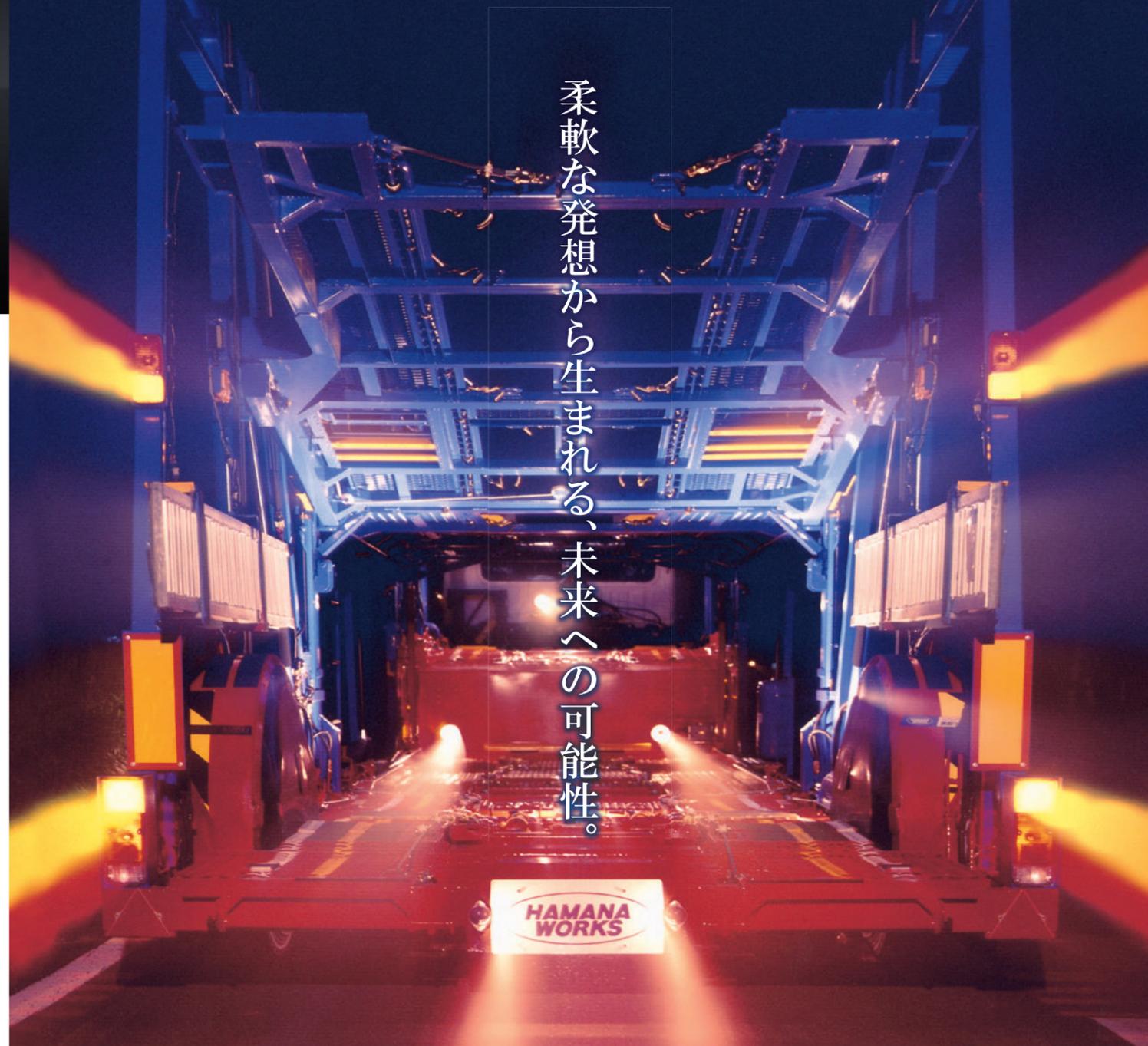


集・処理など、現在の都市の輸送フローは、人々が移動する朝のラッシュアワー時に商品が配送されるなど、最適化された状態であるとは言えない。一方、都市の中心部では、人々が眠りにつく夜間の輸送は騒音の問題で禁止される場合もある。

この現状についてヘンリクソン社長は「Scania自身が、都市の交通システムを作り直すことはできません。我々に出来ることは、変革のアイデアを提供することです。それが、NXTを支える思想であり、これまでとは異なる、サステナブルな方法で交通と車について考えることなのです。公共交通とは、常に“シェアリング”を意味してきました。今こそ、これを次のレベルへと押し上げる必要があります。自動化がさらに進むことで、よりシンプルな形で、公共交通に更なる柔軟性を取り入れることが可能になります」とコメントしている。

また、スカニアのロバート・フェディーンNXTプロジェクト・マネジャーは「これは新しく、これまでとは非常に異なっています。しかし、柔軟なデザインとモジュール化されたユニットは、まさにScaniaのコアと呼べるものです。また、地道な改善を続けることがScaniaらしさなのです。我々は今、未来に向けて大きな一歩を踏み出しています。この車両は、今後も続く電気自動運転車の開発において、とても貴重な具体的データをもたらしてくれるでしょう」と述べている。

柔軟な発想から生まれる、未来への可能性。



1台1台が、私たちの作品です。

広々とした最新設備が整った工場内では、お客様の様々な要望を100%クリアするため、半世紀以上にも及ぶ手作り尊重の社風が脈々と受け継がれています。設計の段階からオリジナリティのある製品は1台1台が異なる性質を持つため、各部門にスペシャリストを配し、熟練した技術と柔軟な対応力でお応えしています。

